

株式会社チェンジ 2023年3月期第1四半期決算説明会(機関投資家向け)

| No. | Question   | Answer   |
|-----|--|--|
| 1   | 当第1四半期の業績を踏まえて、通期見通しを変更しない理由を教えてください。                                      | 今期はまだ4か月が経過しただけで取り返しが十分可能な水準であり、通期で巻き返しは可能だと考えております。   |
| 2   | ロゴスウェア、DFA RoboticsとのM&Aを行った決め手はなにか。また、両社のP/Lへの取り込み開始時期はいつを予定しているか教えてください。 | ロゴスウェアは、数百万人が同時に利用できるラーニングプラットフォームを開発できる技術力、製品力を有している点、DFA Roboticsは、数千台規模のサービスロボットの運用実績・技術を有している点が決め手になりました。<br>損益の取り込み時期は、今後、監査法人との協議を行いますが、ロゴスウェアは8月から、DFA Roboticsは10月からを予定しています。                                |
| 3   | ロゴスウェア、DFA Roboticsにとってチェンジと組むことの決め手は何だと思えますか。                             | ロゴスウェアに関しては、中堅、中小企業などの新規顧客層獲得機会の創出とコンテンツ調達力の強化だと思えます。DFA Roboticsに関しては、チェンジのデータ解析力が評価されたのだと思えます。チェンジは元々、生産性の測定やモバイルアプリケーション開発に高い技術力と実績を有しており、これをDFA Roboticsの有するロボット技術と組み合わせることで、今後飲食店向けにビジネスを大きく拡大させることが可能と考えております。 |
| 4   | DFA Roboticsが提供するロボットは輸入でしょうか、また調達先は何社あるでしょうか。                             | 現状の輸入元は中国のPudu社になりますが、他にも調達先は複数あり、引き続き国内外で調達先の多様化を進めていこうと考えております。  |
| 5   | 2社のM&Aにかかった費用はどの程度ですか。   | 投資金額の詳細は非開示としておりますが、2社合計のEBITDAと評価額を比べさほど高い投資額ではないと考えております。  |
| 6   | M&A戦略は継続すると考えてよろしいでしょうか。   | M&Aによる営業利益の積み上げ分を合計で50億円（2025年3月期）と計画していますが、合計で75億円程度になるようなポテンシャルのM&Aを今期から来期上期あたりにかけて仕込みたいと考えております。今回の取り組みで目標の1/3あたりまで進捗したと考えております。  |

株式会社チェンジ 2023年3月期第1四半期決算説明会(機関投資家向け)

| No. | Question  | Answer   |
|-----|---|--|
| 7   | 投資事業は、今期の計画にどの程度入っているでしょうか。                     | 損益としては投資事業にかかる人件費のみを計上しており、通期では±0と見込んでおります。  |
| 8   | ふるさとチョイスのGMVおよびそのうちOEM先からの流入はどの程度あったでしょうか。      | 本年4～6月のGMVは前年同期比で若干下回ったものの、7月以降回復に転じています。OEM経由の取扱い額は守秘義務の関係から開示できませんが、回復基調にOEM等の施策が貢献しております。   |
| 9   | ガバメイツに関してスタートされたばかりですが感触はいかがでしょう。通期見通しを教えてください。 | 愛媛県「市町業務標準化モデル構築事業」を全国展開することで自治体DXのデファクトをとっていく準備が整いつつあります。これは自治体DX市場の勝者は我々であると言える材料になると思います。当第1四半期ではガバメイツの垂直立ち上げにより先行的にかかった固定費によって営業損失を計上したものの、通期で営業利益±0となる計画です。 |